



平成21年4月24日

各 位

会 社 名 中央ビルト工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 西本 安秀
(コード番号 1971 東証第2部)
問合せ先 常務取締役管理統括本部長 安達 圭朗
(TEL. 03 -3661 - 9631)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月14日に公表しました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期 通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,692	537	416	397
今回修正予想(B)	8,561	345	223	240
増減額(B-A)	△131	△192	△193	△157
増減率(%)	△1.5	△35.8	△46.4	△39.5
(御参考) 前期実績(平成20年3月期通期)	9,134	531	342	348

2. 修正の理由

売上高では、景気悪化に伴う工事の延期、中止など大幅な工事量の減少による稼働率低下、それに伴い一旦下げ止まったリース価格も一段と下げ基調となり、賃貸部門が大幅な減収となった。

営業利益及び経常利益では、本業の減収に加えて、退職給付債務の算定において、期末の株価が期首に比べて大幅に下落をした影響により、年金資産が減少し、退職給付費用が前回下方修正時に比べて更に約8千万円増加（年初計画に比べると1億9百万円増加）となったことが、減益の主要因となった。

当期純利益では、本社事務所立退に伴う補償料が特別利益として計上するも、営業減益分をカバーすることは出来ずマイナスとなる見込である。

尚、当期の配当については、上記の通り厳しい業績となる見込であるが、期初の予定通り2円配当を実施する方針である。

※上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しており、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、上記予想とは異なる結果となる可能性もあります。

以 上